

「美しい猪苗代湖を取り戻すために、一人ひとりが考え、実行しよう！」
～水質環境改善活動の実践を通して～

猪苗代町立翁島小学校 教諭 板橋 誠

1 研究の趣旨

学校の北側に磐梯山、南側に猪苗代湖が広がる翁島小学校は、野口英世の母校である。かつて全国水質ランキングで日本一を誇っていた猪苗代湖が、生活排水やごみで富栄養化が進み、近年はランク外となり、年々水質が悪化している。そこで、翁島小学校では平成13年4月より総合的な学習の時間で猪苗代湖を中心とした水環境学習に取り組み、「美しい猪苗代湖を取りもどすにはどうすればよいか」を課題に、自分達でできることを考え、美しい猪苗代湖を取り戻すために活動を進めてきた。

2 研究の概要

(1) 猪苗代湖の水質改善活動

① オリエンテーション (3～6年)

水環境学習のねらい、内容、方法等について講義を受け、話し合う。また、今後の学習活動について学年ごとに話し合う。

② 猪苗代湖岸クリーン作戦 (1～6年、保護者)

学校近くの猪苗代湖北岸の浜で、全校児童と保護者や町、磐梯青少年交流の家等との連携で清掃活動を行う。

③ 森林環境学習 (3・4年)

磐梯青少年交流の家での宿泊学習において、ネイチャーゲーム等を通して、森林の役割を学習する。(3年)

猪苗代湖に流入する河川の水質や水生生物の調査を行う。(4年)

④ 湖水の水質調査 (5年)

湖岸各浜の水質 (COD、PH、透視度、水温等) を調査し、清掃活動も行う。(5年)

湖心の水質 (COD、PH、DO、透明度、水温等) を調査する。(3～6年)

⑤ 水質浄化活動 (3～6年)

水生生物アサザの育成・移植を行う。(6年) (窒素やリンの吸収)

水生生物ヒシの除去を行う。(3～5年) (枯死するとヘドロ化するため)

ヨシの刈り取り (5年) (砂浜の回復を促進するため)

⑥ 活動内容の地域等への発信 (5年)

翁島フェスティバル・環境フォーラム等での発表、啓発ポスターの作成・掲示

(2) 外部講師の有効活用と保護者、地域の協力

① 外部講師の活用

「猪苗代湖の自然を守る会」会長の鬼多見賢先生に活動開始年度から継続してご指導をいただいている。

② 保護者、地域の協力

複数の活動において保護者の協力をいただいている。また、本年度は国立磐梯青少年交流の家の協力も得て活動を行っている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

① 児童は猪苗代湖の水について興味関心が高まり、水質保全について考える態度が育っている。

② 外部講師や大学教授などの話を聞くことで、湖水について高い知識が身に付いてきている。

③ 活動を継続し、内容を発信することによって、保護者や地域の関心を高めている。

(2) 今後の課題

① 今後も一層外部講師や保護者・地域との連携を深めていかなければならないと思われる。

② 活動内容について、継続を基本としてより一層の充実を図らなければならない。